

## 第5期 第7回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 令和4年11月16日(水) 13:30~14:00

2 場 所 苫小牧市役所 9階議会大会議室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

伊藤委員、遠藤委員、太田委員、佐々木委員、佐藤委員、須田委員、  
高橋委員、中島委員

(2) 事務局(市)

産業経済部 : 小名部長

産業振興室 : 白川室長

企業政策室 : 木澤室長

商業振興課 : 小泉課長、長谷川主査、高橋主査、塚原主事

工業・雇用振興課 : 倉持課長、齋藤主査、今井主査、西村主事

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中8名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 報告

ア 前回の意見交換会の結果について

遠藤副会長より、8月10日(水)の第6回中小企業振興審議会後に開催された意見交換会の結果報告。

大きく3つのテーマ①PR周知の話 ②事業内容の話 ③審議会のその後の話

①PR周知の話

苫小牧市の事業や施策、支援策が大変多いことは理解したが、その広報や周知の部分に物足りなさを感じている。

苫小牧市では、従来の紙媒体に加えて、HP、LINE、SNS広報と新しい手法を取り入れているが、物足りなさというのは、利用者の少なさやそもそも知らないということ。それぞれ組織や団体、地域コミュニティー等を利用して情報の広がりを進めるように、コミュニティーを活用することが必要である。

②事業内容の話

商品開発や事業承継、教育、IT、イベント開催等、所属している企業や団体から多岐にわたる業種、分野、項目等で課題や必要な支援等を聞いている。

現在実施している事業について、利用者、対象者、内容、金額がよりマッチング出来るよう、可能であれば協議の場にも参加したい。

### ③審議会のその後の話

審議会とは別の会議体を設置し、実動部隊や現場の声を反映し、事業化について具体的に議論できる場を設けたいといった会長からの提案があった。

苫小牧に必要なものは何かを考える時に、審議会の延長上に実務的な意見交換を行って事業を進めたい。審議会は審議会として計画策定や進捗確認等役割を果たすものだが、もっと話し合いができる場をつくり、事業PRの手法検討進めていかないと、様々な施策を打っても実になりにくい。中小企業振興をいかに考えて実践していくかを一番とし、行政のできることに、民間事業者や団体ができること、それぞれの得手不得手がある中で、議論をプラスアルファとして考える場を作っていくことについて、皆様と考えていきたい。

#### 《質疑》

○中島委員 以前の部会というものを新たに設けて、審議会、意見交換会とは別に、来期からやるようなイメージか。

○高橋会長 市から諮問をされている審議会は残すべき。審議会だけでは実務に伴うのが難しいので、そういう会の必要性について今後議論していきたい。

### (3) 議事

#### ア 答申内容『(仮称) 第二次苫小牧市中小企業振興計画(素案)』について

事務局より資料1の答申内容を、審議会で議論した内容を基に変更があった点を資料2に基づき説明。11月28日月曜日に答申を行う予定を伝えた。

---質疑なし---

### (4) その他

高橋会長より、次回審議会が令和5年2月15日(水)13:30～(職員会館304会議室)で実施予定であり、後日事務局より日程通知があることを説明。

事務局より、市長答申後の計画策定までの予定について、

- ・12月市議会の所管委員会で報告
- ・来年1月にパブリックコメントを実施
- ・いただいた意見を反映し、2月15日審議会で報告
- ・2月市議会の所管委員会で報告
- ・3月に完成版を審議会委員に報告
- ・4月から第二次計画がスタート

の流れと、次回審議会は第6期審議会に向けての引継ぎ事項や中小企業振興の具現化に向けた方法論についての議論を行うことを説明。

### (5) 閉会